

サーチライト With Pastor Jon 創世記 5 章 パート 3

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

長男から学び、彼が真理の中を歩んでいる姿を見る。

これ以上にワクワク興奮すること、頼もしいことはありません。

まさに使徒ヨハネが語った通りです。

私の子どもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。

(Iヨハネ 4)

それに勝るものはない。

しかし私は、多くの人が斬新なインテリアや強いエンジンなどの新型ニューモデルを求めて、その可能性を簡単に捨てるのを見てきました。彼らは歳を取ると、あっと言う間に恨み、悲しみ、孤独のような良くない方へと変わります。

娘のクリスティーは、みこころならば宣教師になりたいと今計画し、準備し、勉強しています。彼女は神と共に歩いている。私が出かけようとするといつでも「お父さん、祈らせて。」と言って、手を置いて祈ってくれます。出かける度に絶対にそうして欲しい。

それからメアリーとベン。二人が通っている小学校の先生たちが今週教えてくれたのは、「この子たちは一日中、イエスについて話しています。」別々のクラスで、それぞれの先生が私の子どもたちのことを、「いつもイエスのことを話しているのですよ。」と。

子供たちを見、彼らについて聞く時、心底ワクワクし、大変満たされ、そして、人生の次のステージをととも楽しみにしています。つまり、私が“おじいちゃん”になること。

次世代が更に真理に歩み、主に在って成長する姿を見るのが本当に本当に楽しみです。

これに勝る喜びはありません。

ところが、「性交渉を持っても全て赦される」と言う男や女によって、それが脅かされ、非常に軽く扱われ、打ち捨てられることがあまりにも多い。

確かにあなたは赦されます。そして、バン!! あなたの家族は死ぬ。

「でも、恵みが…」確かに恵みはあります。しかし、バン!!

神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取もすることになるのです。

(ガラテヤ 6:7)

肉体関係を持つという罪は、霊に強大な力が働いて霊的に一体となるように、同じ力で家族に破壊と悲劇をもたらします。

たとえ、どんな誘惑があなたを引き寄せているとしても、家族を失ってはなりません!

とても霊的に見える男性がいる時、「どうしてウチの夫はあんな風ではないの? 彼に話して一緒に祈ってもらおう。」とか、あなたに気があるように見える女性だとか、色々なんであれ、それらに家族以上の価値はありません。

「僕がもう少し残業して、君ももうちょっと働けば、僕たちはもっと上に行けるんだ。」「別荘が買える。ボートも。」というように、仕事の誘惑で世を手に入れたとしても、魂を失ってしまったら何の得があるでしょう。

皆さんの息子や娘、家族の魂と比べたら、それらには何の価値もない。

家族が真理に歩み、生き生きと成長しているのを見る以上の喜びはないのです。

一方、家族が失われるのを見ることほど、深い悲しみはありません。

私は子供たちをずっと注意して見てきましたが、娘にもものすごく会いたいです。

とてもとても会いたい。その理由を敢えて言う必要はないけれど、あれから約2年が経とうとしています。

(*1997年当時) ジェシーのことを思わなかった日は、一日たりともありません。心底、会いたい。

でも私は、彼女が天国にいることを知っていますし、その事を感謝しています。

なぜならジェシーは、私が今いる所とは比べものにならないほど良い所にいるのですから。疑う余地はありません。彼女はイエスを愛していたので、安全に天に挙げられ、今イエスのそばにいます。保証します。

今夜、私がこういうことを言うのは、子供たちの成長を見、家族がよくまとまることの喜びを知っているからです。そして同時に、家族を失うことの耐え難い痛みも。

家族と引き換えに手に入れなければならないほどの価値のものは、何もないのです。

世の道を行くことを選んで「私は赦されている」と言うのなら赦されるでしょう。

しかし、その影響は絶対に受けます。

私の心の痛みや私が乗り越えるべきことと、息子や娘を失った人を覆っている痛みとは同じではありません。

それは肉体的に死んで天に召された喪失ではなく、彼らは、死んだ結婚のゆえに、家庭の中に真理を見ていなかったゆえに、何かを追い求めて他の人を選んだ父や母に対する怒りのゆえに、神と共に歩んでいなかった

たり、神に関心を持たなかった子供たちなのです。
だから、その喪失は拷問のようでしょう。
あなたは、何があっても家族を破壊させてはなりません。
何であろうと、家族を失うようなことがあってはなりません。
家族を失ってまで得るほどの価値を持つものは何もないのですから。

私は今回もまた、誰に対して話しているのかは分かりませんが、この章の初めにコメントしたように、“聖歌隊”に向けてメッセージしています。

聖歌隊の皆さんには声を大にして歌ってもらいたい。

息子や娘、友人や親戚全員に伝えましょう。

一時の愉しみ、性的興奮、魅惑、想像、キャリア、ミニストリー、何であれ、それが家族を破壊しているなら、「そんなものに価値はない」と。

子供が真理に歩くのを見ること以上の喜びはありません。

そうなるための最も効果的な方法は、お父さんとお母さんが共に一緒にいることを選び、性的無分別や姦淫によって夫婦の関係を殺してしまわないこと。家族であり続けること。

好色に関するいかなることに、扉をほんの少し、隙間ほど開くことさえダメです。

あなたの良心を侵し始めるから。

姦淫に走るということは、自分の家族の頭に銃を突きつける行為です。

姦淫にそんな価値はない。失って初めてその価値に気づくのです。

女性の皆さん。ご主人がロマンチックからほど遠い人で、夫以外の今のカレがどんなに霊的な人であっても、そのカレには価値はありません。

夫と共にいなさい。結婚した男性のそばにいなさい。夫を愛することを選びなさい。

扉を開けないで。たとえファンタジーやロマンス小説や“女性のテレビネットワーク”でも。そこへ行ってはいけません。

「そこへは行かない！扉を開けると、私の中に誘惑や良くない思いが入り込む隙を与えて、それらが家族の頭に弾を打ち込むことになるから。」と言いましょ。

そうでないと、「年老いて白髪になった時、その時…その時…その時に、私に何が残ってる？ 私が求めた束の間のくだらない喜びのために…」

男性の皆さん。あなたは自分のことを“a hunk,a hunk of burning love” “セクシーで熱い男”（直訳は塊、燃える愛の塊）（エルヴィス・プレスリー／Burning Love バーニング ラブの一節）だと思っているかもしれませんが。

「俺は一人の女のものにしておくには勿体ない男だ。」とか、スーパースターのように着飾って偉そうに歩き回ったり、「やっと手に入れたのさ。オレの〇〇〇」とか。

でも、このことを知っていて下さい。

あなたは全てを失って、遂には悲しく惨めな人になる。

そうして、あなたが歌うのは“a hunk,a hunk of burning love”ではなく、“Heartbreak Hotel”（エルヴィス・

プレスリー／ハートブレイク ホテル)

哀しさの中でブルースを歌うようになるのです。それが現実。

世の道をどれだけ行っても、今以上の満足は決して与えられませんが、“聖なる道”（イザヤ 35:8）を見出すなら、より深い満足がいつも得られます。

ところで、恥ずべきことをする世の道は常に悲しみに導きますが、最終的には幸せに至るのですよ。

「ジョン、どういうこと？」

昨夜、私は7時過ぎに教会に走り込みました。長い一日。

夫婦のカウンセリングを終えてオフィスに戻ったからです。

姦淫・不貞は赦されると思っていた善良な人たち。善良な兄弟姉妹。

「ナニが悪いんだ？」そして今、孫の顔を見て楽しむ年齢になって絶望しています。

赦されることと（彼らは赦されていますが）、絶対に避けられない影響との違いを理解しておらず、投げ捨て、失い、拭い去ってしまったから。

神は、他のどの罪よりも多く姦淫の罪について語りました。

それは、単に神がそれを嫌ったからではなく、姦淫は他と違って、実に長期にわたる問題を引き起し、非常に悲しい結果を招くからです。

私は昨夜やり終えて帰宅し、昨日は家にいたのは38分ほどですが、急いでシャワーを浴び、チキンを食べながら、妻にこう言いました。

「明日は5つの章をやるよ！絶対だ。5つ！」で、この節だけ。

今回の学びを始める直前まで、またこの件について話すとは思っていませんでした。

でも申し訳ないけれど、皆さんの兄弟として、友達として、今夜はまさしく牧師として言わなければ、と強く感じています。

「やめろ！」「そっちに行くな！」「離れろ！」「家族を危機にさらすな！」

主が唯一言ったことは「そちらに行ってはならない。それは絶対に、家族に致命的な打撃を与える。」

家族を危機にさらす原因に、性的不道徳以上のものはありません。

これが、ただ一つ、離婚の理由として許されたことなのです。

他のどんなこともやり直せます。他のどんなことも乗り越えられます。

しかし悲しいことに、イエスはその日言いました。

「夫婦の間だけの行いである性行為の力、霊的要素のゆえに、解決できないことが一つある。」それを子供たちに教えましょう。互いがそのことを思い出すのです。

そして今、決心しなさい。

「なにものにも家族を破壊させはしない！絶対にそんなことはさせない！絶対に！」

もしあなたが数少ない幸運な人で、不貞をしていながら奇跡によって結婚生活を復活させてもらったのなら、神が奇跡によって復活させることを許したのなら、ただし、私は20年以上牧師として見てきたので分かりますが、それは遥かに現実離れしていて本当に極々稀にしか起こりませんよ。だけど神の優しさで復活の奇跡が許されたのなら、それを宝物のように大切にしてください。恵みを得たのですから。

行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。(ヨハネ 8:11)

離婚した人、私が言おうとしていることが分かっているでしょう。

今何ができるのか、どうするべきなのか、あなたは理解しています。

「主よ。私は辛い経験をして学びました。自分の誤りから学びました。私は刈り取らなければならないことも、必ずその影響が及ぶことも。主よ。私はそれらをあなたのところに持って行きます。」

主は、いなごが食い尽くした年月を回復することができます。(ヨエル 2:25)

それでもあなたは、引き続き影響は及んでいるということを理解しなければなりません。

あなたが姦淫・不貞を犯した妻や夫に見捨てられた当事者なら、そのダメージが余りにも大きくてどうしようもなく、あなたは望まなかったけれど結婚生活に終止符が打たれたということ、神はちゃんと知っています。

パウロはコリントやエペソで言いました。

見捨てられた立場の人だけでなく、前述した状況の人たちも含めて、「**そのような場合には、信者である夫あるいは妻は、縛られることはありません。**」(I コリント 7:15)

神は知っています。

しかし愛する皆さん、どうか、今夜決心して下さい。

どんなことをしても、家族の神聖さを守ることを。

どこにいようと、なにが起ころうと、家族より大切なものは何もない。

家族が真理に歩む姿を見る以上の喜びは何もないのです。

一方、家族を失うことほど心痛むことはありません。

ですから、賢い選択をしましょう。

神はふたりを見て祝福し、そして彼らの名を“アダム”と呼びました。彼らはひとつ。

『死がふたりを分かちまで』

あなたの隣に座っているその人があなたの相手です。「彼？」はい。「彼女？」そう。

「でも、でも、私たちは合わないんです。」だから？

彼（彼女）はどこまで行ってもナンバーワン。他に誰もいません。

あなたの隣に座っているその人が、その人です。

それから、夫たちに勧めます。

夜が更ける前に奥さんに腕を回して、「キミだけを愛してる」と言いなさい。

そして、妻たち。まあ・・・できる範囲で頑張んなさい。

神が私たちに知恵を与えて下さいますように。

思い違いをしないように。神は侮られる方じゃない。

何であれ、自分で蒔いた種は自分で刈り取ることになります。

だから本当に気をつけて。十分に気をつけて。

幸せに導く“聖なる道”を選びましょう。

主の御名によって。

ちょうどそのとき、一人のイスラエル人の男がやって来た。

彼は、モーセと、会見の天幕の入口で泣いているイスラエルの全会衆の目の前で、一人のミディアン人の女を自分の兄弟たちに近づかせた。

祭司アロンの子エルアザルの子ピネハスはそれを見るや、会衆の中から立ち上がり、槍を手に取り、そのイスラエル人の男の後を追ってテントの奥の部屋に入り、イスラエル人の男とその女の二人を、腹を刺して殺した。

するとイスラエルの子らへの主の罰が終わった。(民数記 25:6-8 新改訳 2017)